平成13年度・上半期那覇市の財政

（平成13年９月30日現在）
企画部　財政課　☎862-9938

行財政改革の推進のために

低迷する景気の中で財政運営の効率化、健全化に努める

バランスシート作成やISO9001認証取得へ

平成13年度予算は、低迷を続ける景気の影響から、市税収入や地方交付税の原資となる国税収入の減少等により収支の見通しが極めて厳しい中での予算編成となりましたが、引き続き財政運営の効率化、健全化に努めました。

予算編成にあたっては、積極的な施策の展開を図るため、各種施策の優先順位について厳しい選択をし、財源の計画的、重点的な配分を行いました。

新たな事業として、行財政改革を推進するためのバランスシート作成や市民サービスの向上を図るためのISO9001の認証取得、電子市役所に向けてのIT推進事業や市民が基礎的な技能を修得するためのIT講習会の実施等を行います。

また、バリアフリーアクセス状況調査や母子生活支援施設建設などの福祉関連事業、緊急の課題であるごみ処理関連事業については、新最終処分場整備事業、資源循環型産業社会を目指したゼロエミッションの基本構想や具体的な施策等について取り組みます。

都市の安全を守り、災害に強いまちづくりを目指すため高規格救急車購入、防災行政無線を設置します。

生活基盤の整備として、市営住宅老朽化対策、桃川南線の道路改良工事等、教育施設の整備として、宇栄原小学校校舎の改築、松島小学校の防音工事等を実施します。

待機児童解消、家庭ごみ有料化準備事業等に増額補正

９月補正予算では、IT推進のための機器整備、公立保育所・認可保育園への入所待ち解消のための保育所待機児童解消対策事業、私立保育園への運営負担金の増額、生徒の安全のための小中学校の全職員に防犯ブザーを所持させる学校安全対策事業などの対応を行いました。

12月補正予算案は、９月補正予算に引き続き保育所待機児童解消対策事業、私立保育園への運営負担金の増額、土砂災害情報相互通報システム、住民基本台帳ネットワークシステム事業、観光客の激減に対応するための観光宣伝誘致強化事業やコンベンション誘致強化事業、平成14年度から実施予定の家庭ごみ有料化準備事業、市民会館舞台技術等及び安謝保育所の民間委託準備事業などを市議会へ提出しております。

「市の財産」が前年度９月に比べ増減した理由

①土地の減少（29、561㎡）は、主に港湾用地の売却によるものです。

②建物の増加（6、812㎡）は、主に末吉市営住宅の完成によるものです。

③基金の増額（761、185千円）は、新庁舎建設基金、退職手当基金、国民健康保険基金の積立です。

④有価証券の増加（308、568千円）は、主に沖縄都市モノレール㈱の増資です。

電子都市へ向け、IT講習会で技能を修得する市民

1.平成13年度歳入及び歳出の状況（単位：千円）

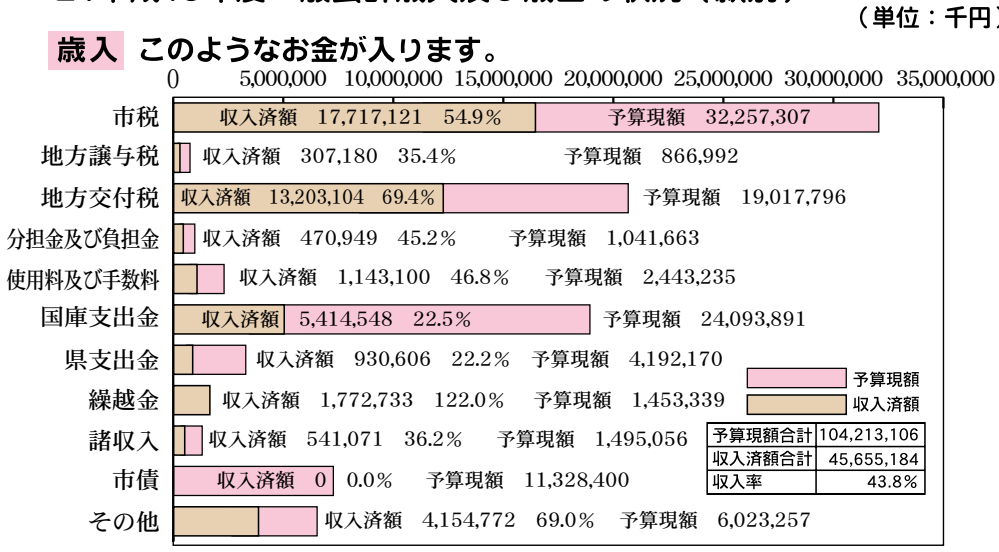
区　分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計（1）	104,213,106	45,655,184	43.8%	37,656,973	36.1%
特別会計（2）	82,821,029	28,116,672	33.9%	31,477,501	38.0%
土地区画整理事業	4,225,835	760,197	18.0%	966,167	22.9%
下水道事業	6,782,484	1,204,318	17.8%	1,885,476	27.8%
港湾事業	5,470,830	1,194,768	21.8%	1,639,241	30.0%
国民健康保険事業	30,115,744	9,852,066	32.7%	11,298,833	37.5%
老人保健	24,055,147	9,957,145	41.4%	10,230,655	42.5%
市街地再開発事業	24,815	17,416	70.2%	1,654	6.7%
介護保険事業	12,146,174	5,130,762	42.2%	5,455,475	44.9%
合計（1）＋（2）	187,034,135	73,771,856	39.4%	69,134,474	37.0%

区　分	収入			支出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	執行率
病院事業						
収益的収支	8,376,267	4,430,335	52.9%	8,301,000	3,784,147	45.6%
資本的収支	378,652	281,401	74.3%	631,851	115,997	18.4%
水道事業						
収益的収支	8,965,446	4,135,652	46.1%	8,674,904	3,123,176	36.0%
資本的収支	1,413,784	0	0.0%	2,740,089	264,782	9.7%

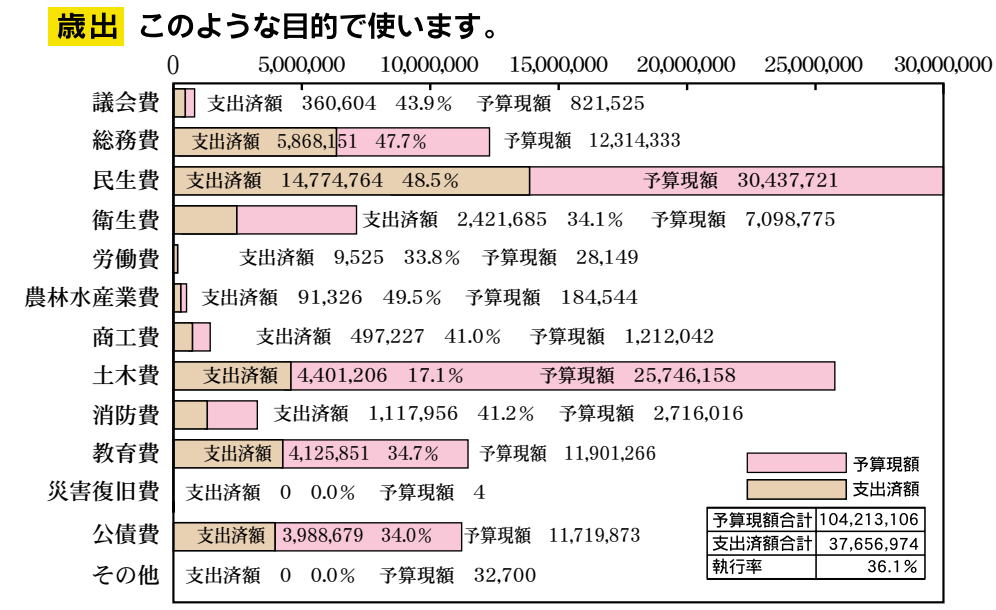
2.平成13年度一般会計歳入及び歳出の状況（款別）

（単位：千円）

歳入 このようなお金が入ります。



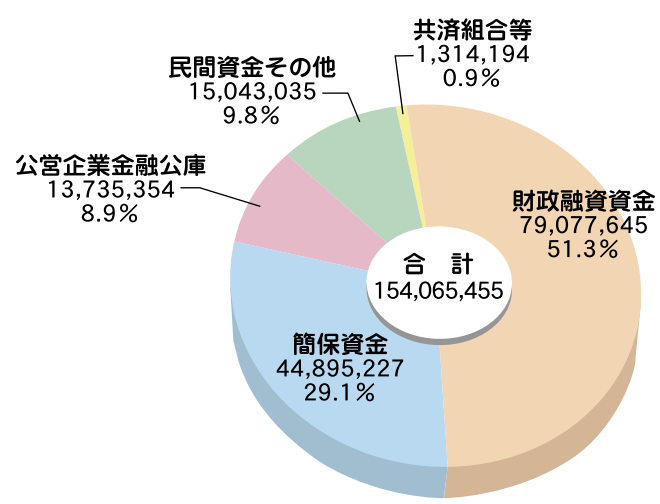
歳出 このような目的で使います。



3.市の財産（かっこ内は、対前年同期比較）

①土地（学校、公園など）	2,767,720㎡	（－29,561）
②建物（学校、図書館など）	953,826㎡	（＋6,812）
③基金(特定の目的のための資金の積立など)	21,029,634千円	（＋761,185）
④有価証券（株券）	3,342,852千円	（＋308,568）

4.一時借入金の現在額　0千円

5.市債残高（企業を含む全会計）（単位：千円）

このようなところから借りています。